



2021年11月 1日
第61号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



「新系列車両保全体制の見直しについて」提案を受ける

JR 東労組横浜地本は、11/1に横浜支社より表題の提案を受けました。

提案内容

新系列車両保全体制の見直しについて

2021年11月1日
横浜支社

業務の抜本的変革を通じた多様な人材を育成するとともに、さらなる生産性向上を推し進め、変革2027で掲げる「社員の働きがいの向上」を図っていくため、新系列車両保全体制の見直しを実施する。

1. 実施箇所

鎌倉車両センター
鎌倉車両センター中原支所

2. 実施内容

新系列車両保全体制を見直す

3. 周知・教育

必要な周知・教育は実施する。

4. 実施日

2022年1月1日

(1) 提案による標準数の変化

	長	助役	事務	車両	計
変更後	1	14	4	81	100
変更前	1	14	4	82	101
増減				▲1	▲1

(2) 具体的な実施内容

<鎌倉車両センター(本区)>

E233系機能保全(年・月)の担務者を見直し。

○現行

担務主任：1名 + 作業員6名 = 計7名

●変更後

担務主任：1名 + 作業員4名 = 計5名

<鎌倉車両センター(中原支所)>

E233系機能保全(月)の体制を新規実施。

○現行

全て機能保全(年)として検査。計5名

●変更後

担務主任：1名 + 作業員3名 = 計4名

提案時における議論の特徴点

<<組合>>

今回の提案についてどのような考え方、根拠で提案に至ったのか。

今回なぜ、1月1日の実施になったのか。

要員の見直しは、どのくらい生産性の向上が見込まれたのか。

「現業機関における柔軟な働き方」と共に、連携してくるのか。

<<会社>>

現場からの要望による。これまで233系は、ほぼ年検査ベースに考えられてきた。これまで保全検査が習熟されてきており、時間短縮につながったため。

トライアルも行っており、教育も含めて今回このタイミングと判断した。ダイヤ改正よりも早く行い、経験をしてもらいたいため。

今まで一つの担当番が行っていたが、すべての人が同じ見る目になり短縮になる。時間計測を行い消耗品も含めて確認できている。

多系統との連携を図り、どれだけ増収活動でファンをつくれるか。特に若手社員に経験させ、視野を広げていく。

鉄道の安全を守り抜くため、安全・健康が担保できる議論を職場から作り出そう!